



6月1日現在 <前月比>

65歳以上男 1,708人<+2>

65歳以上女 2,016人<+6>

高齢化率 21.13% <+0.03>

発行 吉身学区社会福祉協議会
☎077-583-1650第3次吉身学区地域福祉活動実施計画
総括そして次期計画作成へ

～みんなが手を取り助け合う 心ぬくもる地域の絆～

2019年度から2023年度、吉身学区地域福祉活動実施計画に基づき、下記の重点課題を掲げ活動をすすめてきました。

重点課題①「この地域に住んでよかった!!と思われ
る支え愛!!の活動推進」

重点課題②「学区社協と自治会との連携強化」

今年は最終年度となり、総点検・総括をします。
そして第4次吉身学区地域福祉活動実施計画を
作成します。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。高齢者すこやかサロン
(立入町)新型コロナウイルス感染症も
第5類に移行し、待ちわびるかのように
多くの住民が参加して下さいました。参加者51名と、民生委員・福祉協力員・自
治会役員・地域包括支援センター等ボランティア
12名総勢63名の大人数となりました。認知症についての講義とディスカッション、歌
ピアノ・フルートの演奏、イントロクイズ等で
大いに盛り上がりました。なごやかな時間を過ごすことができ、今後も
地域の皆さんのリクエストも聞きながらサロンを
開催していきます。5月25日(木)
10:00~12:00
立入町自治会館にて次号以降も暮らし・
活動に寄り添う情報をお届けします。

身近なボランティア活動

● ペットボトルキャップ

リサイクル会社に売却し、利益を
ワクチン寄贈団体に寄付され、途上国にワクチ
ンが届けられます。

● 古切手

古切手を販売した収益は、知的ハンディキャ
ップの問題を啓発する団体の福祉活動や、障が
い児の療育教材として活用されています。

● ベルマーク

吉身小、立入が丘小のPTAが取り組んでいま
す。ベルマーク1点が1円に換算され、学校に
必要な設備・教材を購入できます。

● 空き缶のプルタブ

プルタブ800kgにつき車いす1台と交換す
ることができます。

吉身会館では上記物品を随時集めています

中部包括では・・・ ★7月中部包括★

「運転免許の自主返納」を一緒に考えます

1 本人の安全を確保しましょう

2 認知症の不安があれば、医療機関で診断を受けましょう。

3 ご本人にとっての運転の「目的」「意味」を
理解しながら説得していきましょう。

① 受診・買い物など日常生活に必要な場合

車の代わりとなる移動手段や支援方法を
(公共交通機関、モーリーカー、介護保険
サービス、家族の運転、配食サービス等)。

② 生きがい・楽しみに必要な場合

運転以外にご本人にあうような楽しみや
生きがいとなる活動を見つける、地域の
サロンへの参加、家族と散歩、こもれび
café 等中部包括では免許センター・他支援機関と共に
連携とりすすめます。気軽に相談ください。

7月の「こもれびcafé」は・・・

7月11日(火) 13:30~15:00

守山市立図書館 活動室にて

「お茶でも飲みながらお話ししましょう」

中部地区地域包括支援センター
(すこやかセンター2階)

☎: 077 (584) 5519 遠藤・井上